

[様式14]

(対象事業：ミュージアムを核とした地域文化資源の整備・活用に係わる事業)

事業名： 「琉球漆器名品展」事業

事業者名： 浦添市美術館

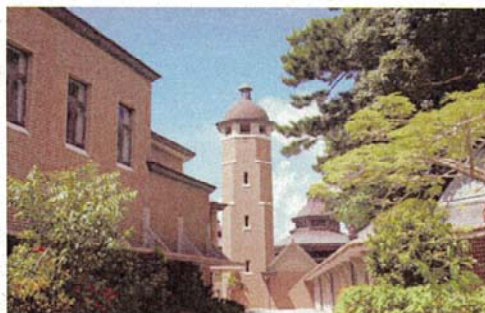
連携事業館名：

住所：沖縄県浦添市仲間1丁目9番2号

TEL： (098) 879-3219

FAX： (098) 878-1221

HPアドレス：<http://www.city.urasoe.lg.jp/art/>



①施設概要

展覧会と関連事業のたんけん・講演会・沈金体験を実施したのは浦添市美術館。平成2年開館で、地下一階地上2階建ての鉄筋コンクリート造り。企画展示室と常設展示室（面積878.84㎡）、実習教室などの設備を備える。

出前講座を実施したのは、市内の学童センター、老人福祉施設、ホテル・ロイヤルオリオン。

②事業の意図目的

琉球漆器を中心に収集展示する漆芸美術館として、県内で初めて重要文化財や県・市指定文化財級の琉球漆器の名品を集め紹介する。

それにあわせ、市内の児童館や学校等に呼びかけ、漆や美術館に親しむプログラムを企画、実施。一般向けにも、講演会や解説会などを実施する。

③事業概要

- ・ 展覧会：国や県・市指定文化財など琉球漆器の名品を集めた展覧会
- ・ 出前講座：児童センターなどにさわれる漆器や写真資料などを持参、漆の話や琉球漆器の歴史や文化について、紹介する
- ・ 美術館たんけん：展示室だけでなく、空調を管理する機械室や収蔵庫など美術館の裏側を解説しながら回り、美術館の仕事を紹介する
- ・ ギャラリートーク：毎週土・日に企画展作品を解説しながら回る。市内学校へは平日の見学を案内。
- ・ 沈金体験教室：銘々皿に漆器の技法の一つ、沈金技法で文様をつける方法を体験することで漆器に興味を持ってもらうとともに、鑑賞の助けとする。
- ・ 講演会

④事業の製作物及び報告書等

事業の製作物 テキスト ワークシート その他（ 展覧会図録 ）

作成した報告書等

ビデオ（ ）

冊子（ ）

その他（ ）

⑤参加者状況

参加者人数 延べ 2,312人

内 訳 展覧会観覧者1654名 関連事業参加者 658名

(1) 事業の実施状況について

●美術館たんけん：日時：7月26日／8月9日／12月8日／12月9日 計4回

参加者計38名 場所：美術館内

浦添市内の小中学生を対象に参加者を募集。美術館の展示室の他、空調機械室や収蔵庫、トラックヤードなど普段目にする事の出来ない美術館の裏側を回り、美術館の仕組みや仕事を知ってもらった。

●出前講座：日時：7月27日／11月15日／1月17日 計3回

参加者計100名 場所：沢岨学童クラブ・ポートヒロック（老人福祉施設）
・那覇東ロータリークラブ

当初浦添市内の児童館・学童を対象に受講先を募集したが応募が少なく、一般にも枠を広げて講座を実施した。出前先に触れる漆器や漆の木、写真などを持参、漆についての話をしながら漆器に触れ、漆への関心を高めるきっかけとした。



漆にさわる子ども達

●御座楽演奏会：日時：2月15日 参加者78名 場所：美術館講堂

御座楽復元演奏研究会の協力により、
展覧会開会式に先立って琉球古典音楽の
御座楽演奏会を実施。展覧会では王朝時
代に徳川家へ献上された楽器も展示され
ており、展示との連動企画として好評だ
った。



演奏風景

●講演会：日時：2月16日

参加者66名 場所：浦添市美術館講堂

徳川美術館の小池部長と当館前田館長による、講演及び作品解説会。講堂でプロジェクターを使用した講演の後、展示室に移動し、実際の作品を前に解説を行った。

●ギャラリートーク：日時：2月17・23・24日／3月1・2・8・9・15・16日

参加者延べ163名 場所：美術館企画展示室

館長・学芸員による作品解説会を毎週土日を実施。多くの参加者があった。

市内学校へは平日の団体見学を案内。会期中2校が来館した。

2月26・27日 参加者152名

ギャラリートーク→



●沈金体験教室：日時：2月24日／3月2・9・16日

参加者65名 場所：美術館実習教室

海洋博覧会記念公園管理財団共催により実施。銘々皿に好きな模様を漆の技法のひとつ「沈金」で入れる、という教室。制作を実際に体験することで、展示された作品により深く関心を持って見てもらおうというもの。大人だけでなく、親子や祖父母と孫の参加もあった。



皿に金を入れる作業

(2) 地域との連携について

出前講座は予定していた回数に届かず、対象も子供から一般向けまで枠を広げたものの、今まで交流の無かった学童クラブや福祉施設との連携ができ、今後講座を実施していく足がかりとなった。

御座楽復元演奏研究会の協力によって「御座楽演奏会」が実現したことや、「沈金体験教室」が海洋博覧会記念公園管理財団より講師の派遣や体験用皿の準備など多大な協力を得て実施することができたのも、連携のひとつに挙げられるだろう。

(3) 成果物について

特になし

(4) 参加者の反応

市内の子供を対象にした「美術館たんけん」は参加者も多く、今後回数を増やすことや、子供だけでなく親子など対象を広げて実施を続けていきたい。

毎週末開催したギャラリートークは熱心な参加者が多く集まった。また、「沈金体験教室」も募集を超える応募者があり、大変人気があり再度の実施を求める声もあがった。展覧会の展示自体も、非常に好評であった（アンケートでは 82%がとても良かった・良かったと回答）。

(5) 芸術拠点形成事業を実施したことによる効果

今まで行えなかった出前講座を実施するなど、新たな地域との結びつきの取り組みができたこと、海洋博覧会記念公園管理財団などとの共同事業ができたことなど、展示以外の取り組みが強化できた。

(6) 新聞記事等

○新聞記事

↓沖縄タイムス 平成 19 年 8 月 3 日 朝刊 26 面



琉球新報 平成 20 年 2 月 16 日 朝刊 ↑

同様の新聞記事 沖縄タイムス 平成 20 年 2 月 15 日 朝刊
 沖縄タイムス 平成 20 年 2 月 16 日 朝刊
 琉球新報 平成 20 年 2 月 22 日 朝刊 (特集記事)

○テレビ、関連誌等

NHK (全国) 「新日曜美術館」
 平成 20 年 3 月 9 日 10 時 00 分～11 時 00 分 (3 分程度放映)
 沖縄テレビ放送局「ニュース」
 平成 20 年 2 月 15 日 18 時 00～19 時 00 (2 分程度放映)
 琉球放送「ニュース」
 平成 20 年 2 月 15 日 18 時 15 分～19 時 00 分 (2 分程度放映)
 琉球朝日放送「ニュース」
 平成 20 年 2 月 16 日 18 時 20 分～19 時 00 分 (2 分程度放映)
 NHK 沖縄放送局「ニュース」
 平成 20 年 2 月 16 日 12 時 15 分～12 時 30 分 (2 分程度放映)